

平成29年12月12日

「スポーツエールカンパニー」を初めて認定 初年度の認定企業は217社

～社員の健康増進の為にスポーツ活動に対する支援や促進に向けた取組をする企業を応援します～

スポーツ庁では、運動不足である「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、本年度から、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」（英語名称：Sports Yell Company）として認定しました。

平成28年度にスポーツ庁が実施した世論調査において、成人の週1回以上のスポーツ実施率は42.5%という結果が出ています。しかし、20代～40代の「働き盛り世代」は30%台にとどまっており、全体の平均よりも低くなっています。

これらの世代では、仕事や家事・育児によりスポーツを実施する時間がないことを理由に挙げる人が多く、健康的なライフスタイルを定着させるためには、一日の大半を過ごす職場において、スポーツに親しむきっかけづくりを進めていくことが重要です。

スポーツ庁では、社員の健康増進のためスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定する制度を創設し、この度、平成29年度「スポーツエールカンパニー」として、217社を認定いたしました。

本制度により、社員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業の社会的評価が向上することで、「働き盛り世代」をはじめとして、国民全体のスポーツ実施率の向上につなげていきたいと思えます。

なお、認定企業には以下の認定証と認定ロゴマークが交付されます。

認定証



認定ロゴマーク



<担当>

スポーツ庁健康スポーツ課連携推進係

松崎課長補佐、森田専門職

電話番号 03-5253-4111(内線 2685)

スポーツエールカンパニーの概要

■趣旨

社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している企業を「スポーツエールカンパニー」として認定し、その企業の取組を広く周知することで他企業への横展開を促し、ビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を目指すとともに、従業員の健康管理を考え戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図ります。

■募集期間および認定企業数

平成29年8月3日(木)～平成29年10月31日(火)

認定企業数 217社（認定企業は別添一覧のとおり）

東京都の「東京都スポーツ推進企業」及び新潟県の「グッド！スポーツカンパニー」との連動について

- ・本制度は、東京都が実施する「東京都スポーツ推進企業」認定及び新潟県が実施する「グッド！スポーツカンパニー」(新潟県スポーツ推進企業)認定と連動して実施しております。
- ・スポーツエールカンパニーの認定は、社員自身のスポーツ活動実践に資する取組を対象としているため、東京都及び新潟県の認定企業のうち、スポーツ観戦を支援する取組や、スポーツ団体やアスリート大会を支援している等の取組については認定の対象外としております。

■認定期間：平成29年12月12日(火)～平成30年12月31日(月)

認定企業の主な取組例

◆株式会社じげん(東京都港区)

4階建てのビルではエレベーターの利用を原則禁止とし、階段の利用を促進。コミュニケーション創出のため、踊り場に掲示板を設置したり、4階にのみ自販機や女性専用パウダールームを設置し、階段での行き来を増やすような動線設計をしている。



◆株式会社サカタ製作所(新潟県長岡市)

健康的に長く歩く習慣を身に付けさせたいと考え、社員駐車場を社屋から離れた場所に設営。より遠くの駐車場ほど車間を広く取り、屋根の雪を落としてもドアがぶつからないとPR。また、運動を兼ねて階段の雑巾がけを実施したところ、愛着が湧き階段利用が促進された。



◆ロート製薬株式会社(大阪府大阪市)

自立した健康管理ができる健康人財の育成を目的として、国内10拠点で全社員参加の体力測定会の開催や朝のオリジナル体操、始業前の体幹トレーニング+健康朝食の提供(朝活)などを実施している。また、全社運動会等で会社全体の一体感の創出に取り組んでいる。



◆神戸商工会議所(兵庫県神戸市)

毎週水曜日(ノー残業デー)に、本部から三宮までの約4kmを徒歩で帰宅する「Challenge Wednesday」を実施。半年間で一定回数参加した社員には、地元シューズメーカーの靴を贈呈。管理職が率先して参加することで、所内の健康意識の向上を図っている。

